

平成21年度決算の概要と第10次中期経営計画  
「Dream TEN ～新たなる挑戦」の進捗状況

2010年5月26日  
頭取 中西勝則

Dream with you.   
SHIZUOKA BANK

静岡銀行





# 平成21年度決算概要①

〔単体〕 (億円)	20年度	21年度	増減
経常収益	2,054	1,860	△193
業務粗利益	1,487	1,520	+33
資金利益	1,297	1,293	△4
役務取引等利益	154	145	△9
特定取引利益	18	12	△6
その他業務利益 (国債等債券関係損益)	18 (1)	70 (52)	+52 (+51)
経費(△)	796	793	△2
実質業務純益 ※1	692	727	+35
基礎的業務純益 ※2	690	675	△16
一般貸倒引当金繰入額(△)	155	83	△72
業務純益	537	643	+107
臨時損益	△368	△138	+229
うち 不良債権処理額(△)	188	149	△38
うち 株式等関係損益	△175	29	+204
経常利益	169	505	+336
特別損益	△2	4	+6
税引前当期純利益	167	509	+342
法人税等合計(△)	39	188	+149
当期純利益	128	321	+193

※1 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

※2 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

## 経常収益 前年度比△193億円減収(2期連続)

- 国内外金利低下による資金運用収益の減少を主因に、前年度比△193億円減収の1,860億円を計上

## 業務粗利益 前年度比+33億円増益(6期連続)

- 国債等債券関係損益の改善により、前年度比+33億円の1,520億円と6期連続の増益

【過去最高益】

## 業務純益 前年度比+107億円増益(3期振り)

- 一般貸倒引当金繰入額の減少等により、前年度比+107億円増益の643億円を計上

【過去最高益】

## 経常利益 前年度比+336億円増益(3期振り)

- 業務純益の増加に加えて、株式等関係損益および不良債権処理額を中心とする臨時損益の改善により、前年度比+336億円増益の505億円を計上

## 当期純利益 前年度比+193億円増益(3期振り)

- 特別損益の改善もあり、前年度比+193億円増益の321億円を計上



# 平成21年度決算概要②

〔連結〕 (億円)	20年度		21年度	
				増減
連結経常収益	2,322	2,145		△177
連結経常利益	200	539		+339
連結当期純利益	130	328		+197

連結経常収益 2期連続減収

連結経常利益 3期振り増益

連結当期純利益 3期振り増益

〈連単倍率〉	21年度	
		増減
経常利益	1.07倍	△0.11倍
当期純利益	1.02倍	0.00倍

業務粗利益の推移 (単体)





# 資金利益

- 国内業務部門 1,178億円（前年度比△22億円）、国際業務部門 116億円（前年度比+19億円）

## 資金利益の内訳

(億円)

	20年度	21年度	増減
合計	1,297	1,293	△4
国内業務部門	1,200	1,178	△22
うち貸出金利息	1,180	1,086	△93
〃有価証券利息配当金	211	204	△7
〃預金等利息(△)	178	107	△71
国際業務部門	97	116	+19

## 国内業務部門

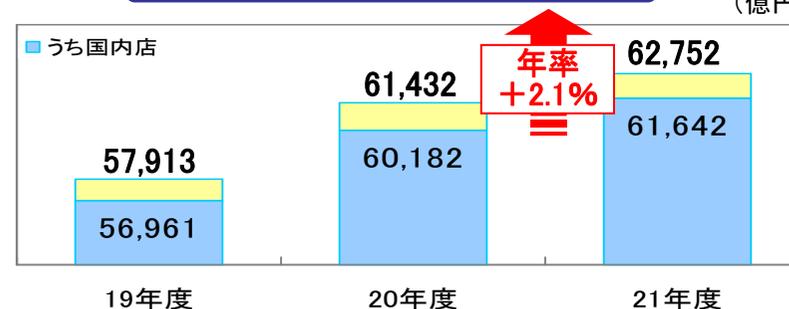
	20年度	21年度	増減
貸出金利回り	1.97%	1.77%	△0.20%
預金等利回り	0.25%	0.14%	△0.11%
有価証券利回り	1.29%	1.30%	+0.01%

## 国際業務部門

	20年度	21年度	増減
運用・調達レト差	1.26%	1.56%	+0.30%

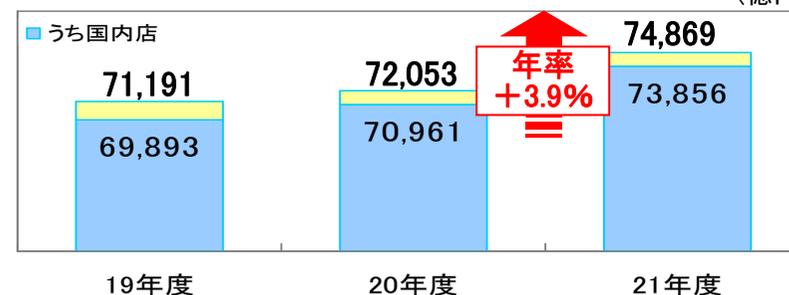
## 総貸出金平残の推移

(億円)



## 預金等平残の推移

(億円)



## 有価証券平残の推移

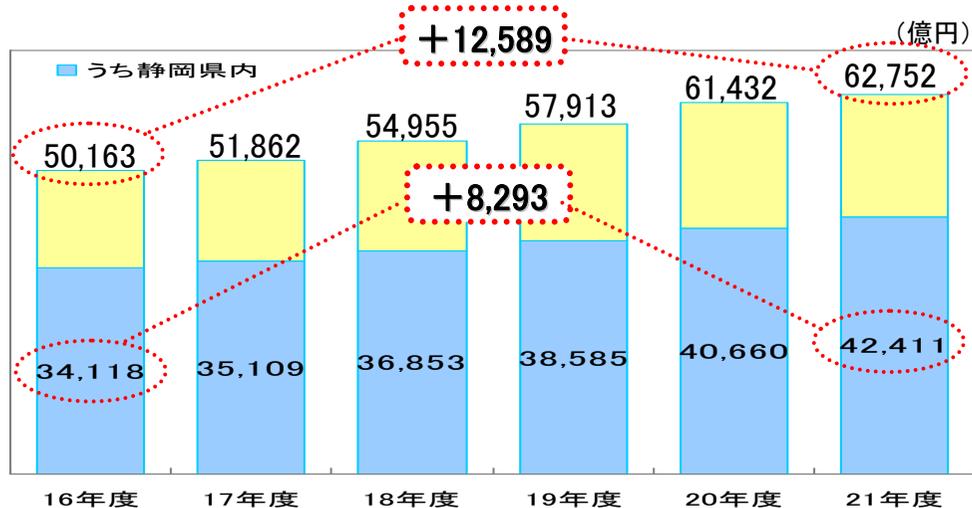
(億円)



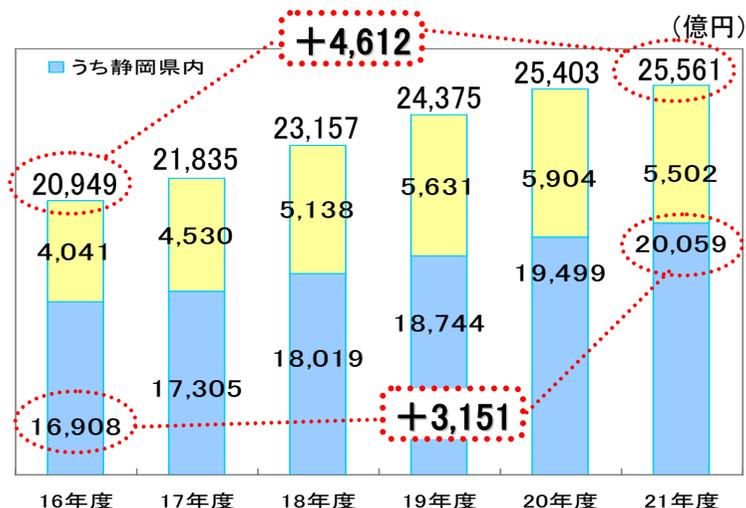
# 貸出金と県内シェア推移

- 17年度からの5年間に於いて、総貸出金平残は+12,589億円増加。県内は+8,293億円（うち中小企業向け貸出金平残+4,612億円、消費者ローン平残+6,576億円）

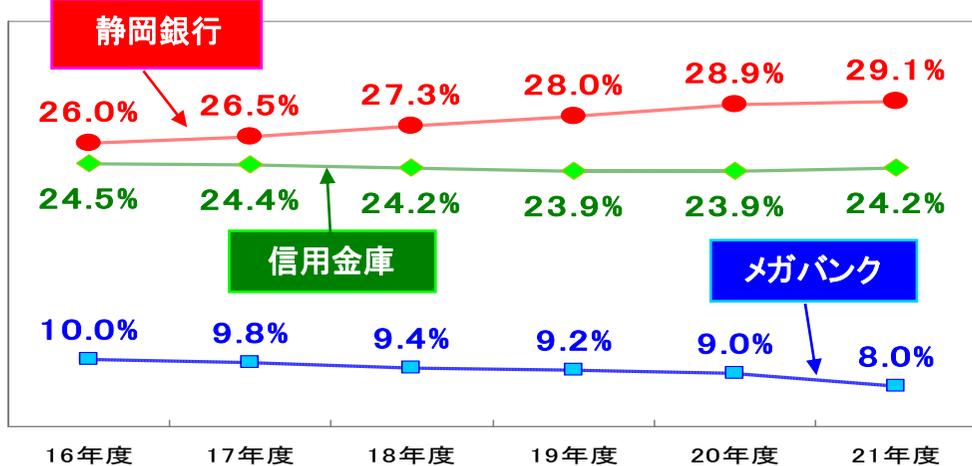
総貸出金平残の推移



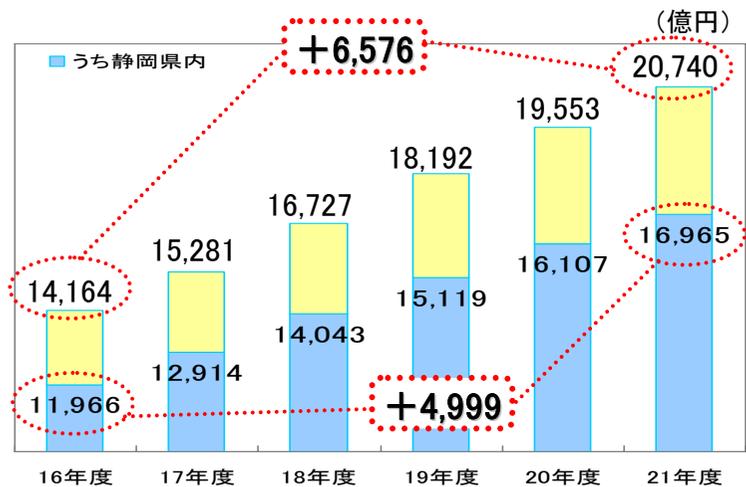
中小企業向け貸出金残高（平残）の推移



県内貸出金シェアの推移



消費者ローン残高（平残）の推移





# 法人部門 ～地域密着型金融～

## ビジネス マッチング

〔成約実績および融資実行額〕

	19年度	20年度	21年度
実績	822件	2,257件	2,595件
融資額	439億円	323億円	344億円



〔事業再生支援完了件数〕

	19年度	20年度	21年度
件数	19件	17件	20件

## 経営改善支援 事業再生支援

先進的な取組みを通じた揺るぎないリ・ソ・ツツップの構築  
⇒シェアアップに結びついている



## Shizugin:ship

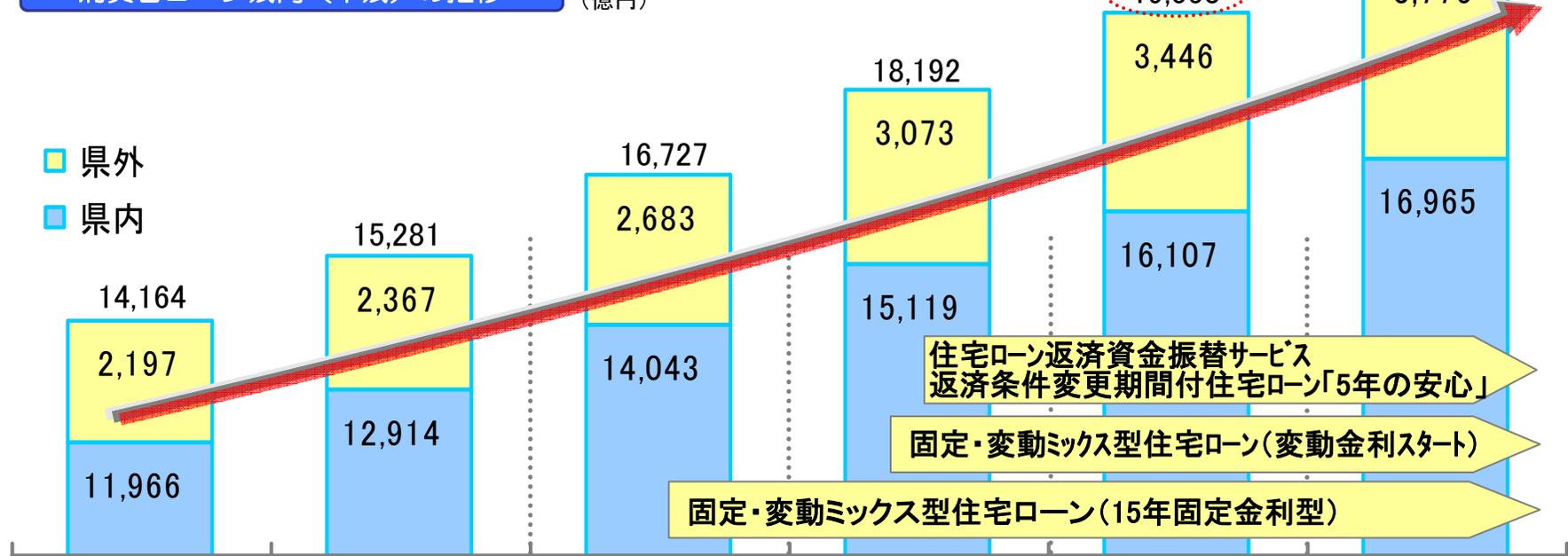
- 会員数（22年3月末）  
869社、1,307名
- セミナー・視察会の参加者数  
のべ3,052名



# 個人部門 ～消費者ローンの増強～

- 消費者ローン拠点の拡充、商品ラインナップの充実、200名を超える専担者の配置など営業推進体制を整備

消費者ローン残高（平残）の推移 (億円)



+1,187  
年率6.1%

住宅ローン返済資金振替サービス  
返済条件変更期間付住宅ローン「5年の安心」

固定・変動ミックス型住宅ローン(変動金利スタート)

固定・変動ミックス型住宅ローン(15年固定金利型)

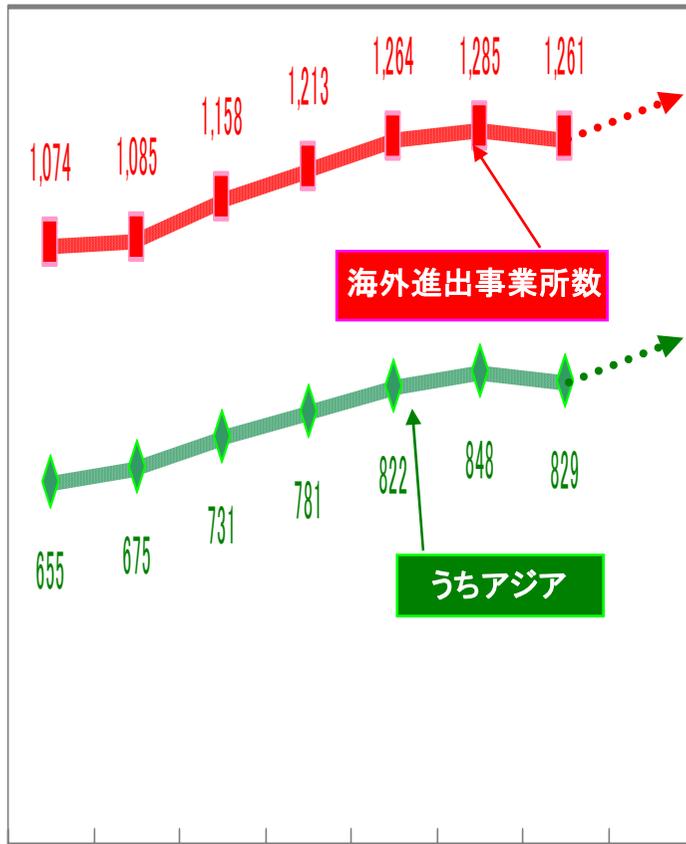
年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
チャンネル	0-センター 0-デポ	14店 6店	15店 7店	16店 7店	16店 7店	17店 8店
担い手	167人	184人	208人	218人	230人	
拠点	県外拠点拡大	名古屋0-デポ開設	豊橋0-センター開設	横浜0-センター開設		厚木0-デポ開設



# 海外進出サポート体制

- アジアをはじめとする海外へ地域企業が進出
- 地域金融機関としての海外進出サポートのビジネスモデルを確立し、競争力を強化

静岡県内企業の海外進出状況



15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年

(出所) 静岡県経済産業部

当行の海外拠点とサポート体制



〈海外金融機関との業務提携〉

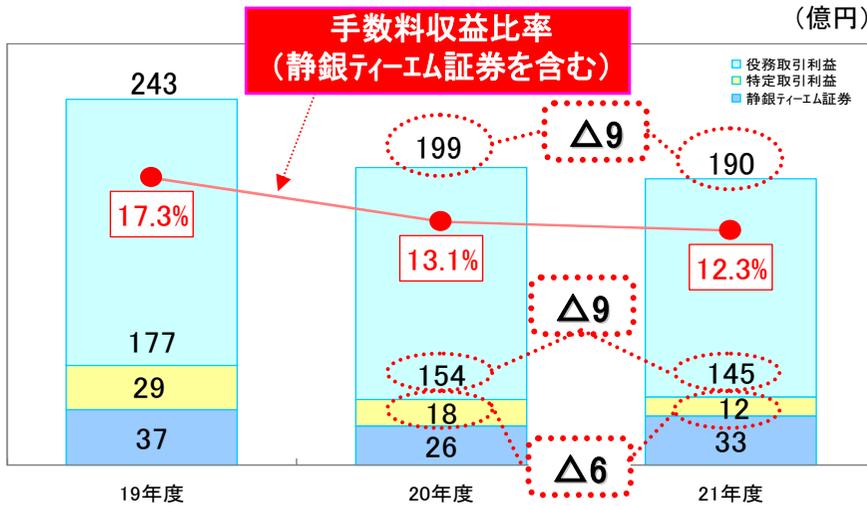
中国建設銀行・バンク銀行  
 クレディ アグリコル コーポレート アンド インベストメント バンク



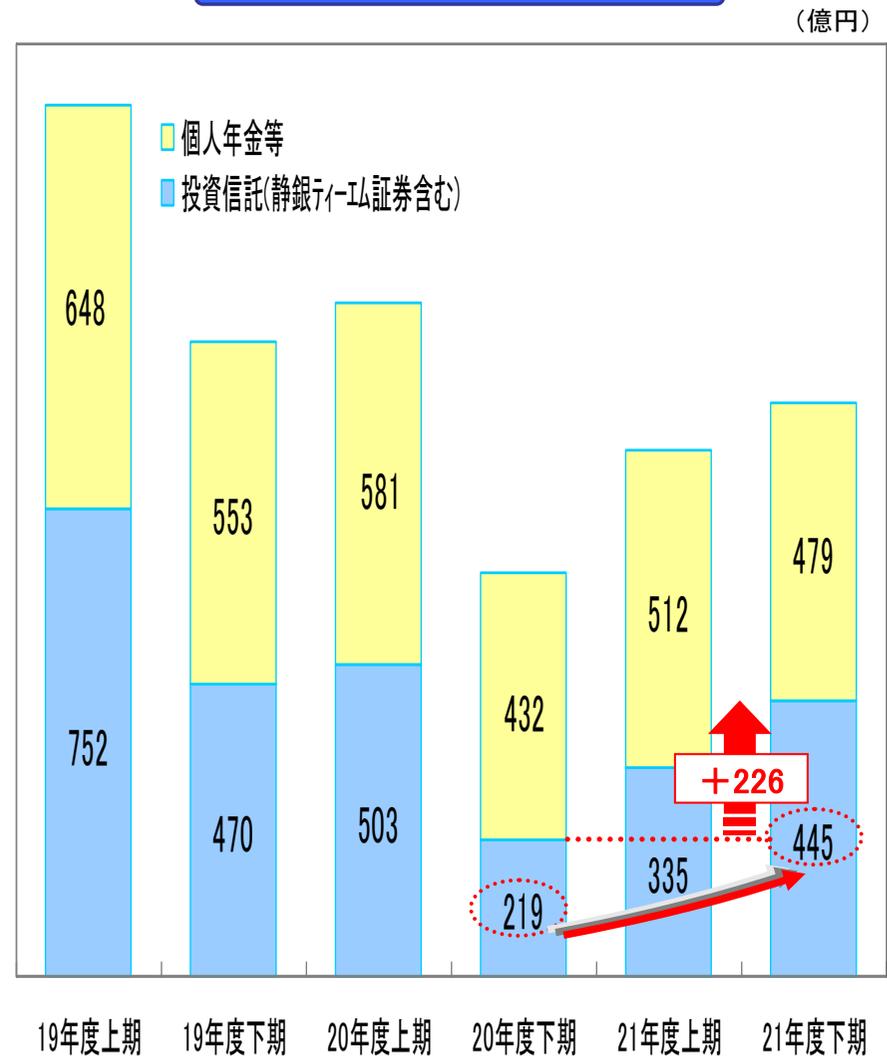
# 役務取引等利益・特定取引利益

- 役務取引等利益は、個人年金保険の販売収益減少などにより前年度比減少
- 投資信託については、マーケット環境の改善により販売額、収益とも増加

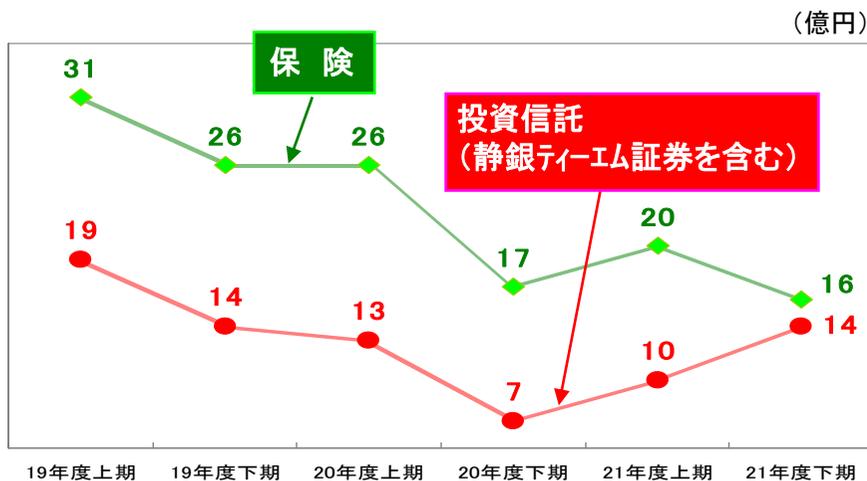
### 手数料収益（銀行・静銀チーム証券）



### 投資信託・保険の販売額



### 投資信託・保険販売手数料の推移

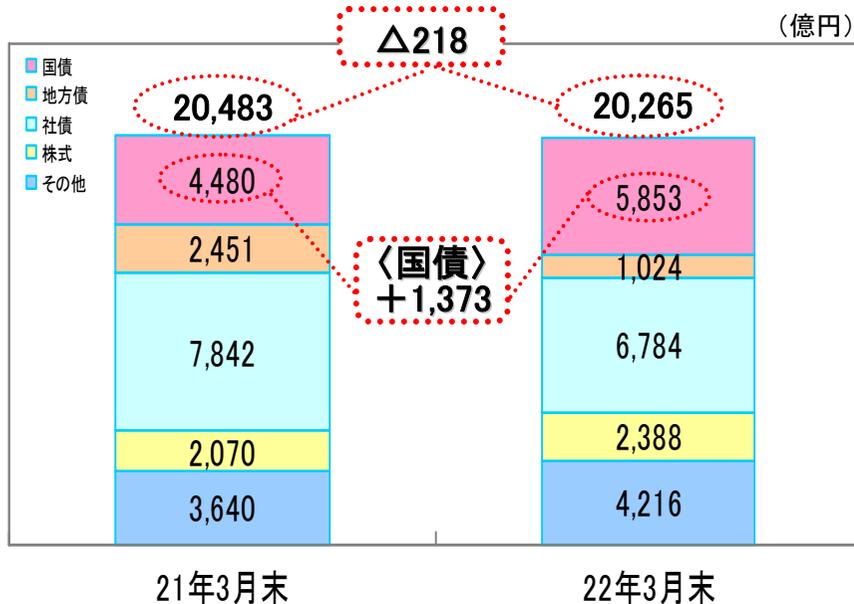




# 有価証券関係損益

- 国債等債券関係損益 52億円（前年度比+51億円）、株式等関係損益 29億円（前年度比+204億円）

## 有価証券残高の推移



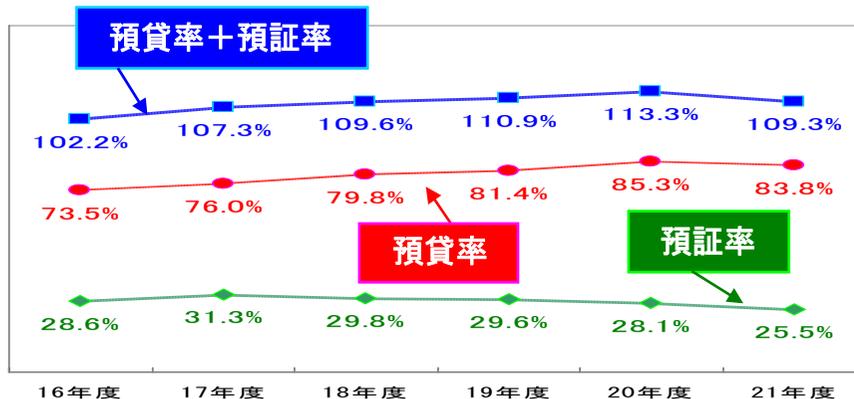
## 債券デューション・有価証券評価損益の推移

	21年3月末	22年3月末
円債デューション	3.90年	4.73年
外債デューション	1.09年	2.60年
有価証券評価損益	642億円	1,332億円
うち株式	686億円	1,145億円
日経平均株価	8,109.53円	11,089.94円

## 国債等債券関係損益の内訳

	20年度	21年度	増減
国債等債券関係損益	1	52	+51
うち国債等債券売却益	120	98	△22
“ 国債等債券売却損(△)	22	31	+9
“ 国債等債券償還損(△)	97	16	△81

## 預貸率・預証率の推移



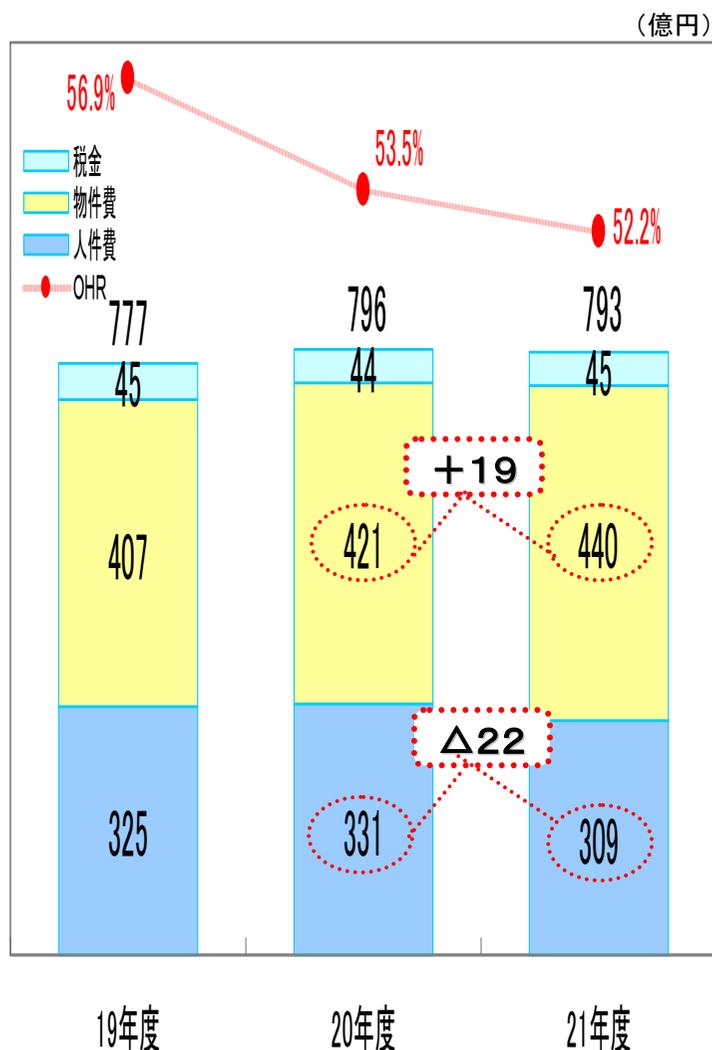
## 株式等関係損益の内訳

	20年度	21年度	増減
株式等関係損益	△175	29	+204
うち株式等売却益	8	36	+28
“ 株式等売却損(△)	8	6	△2
“ 株式等償却(△)	174	1	△173

# 経費

- 21年度 793億円（前年度比△2億円削減）、21年9月中間期時点の業績予想値比△33億円削減
- OHR（単体） 52.2%（前年度比△1.3%）

## 経費およびOHRの推移



## 物件費の推移

(億円)

	19年度	20年度	21年度	前期比
物件費	407	421	440	+19
システム関連	123	130	144	+14
事務委託費	75	79	80	+0
その他	209	212	216	+4

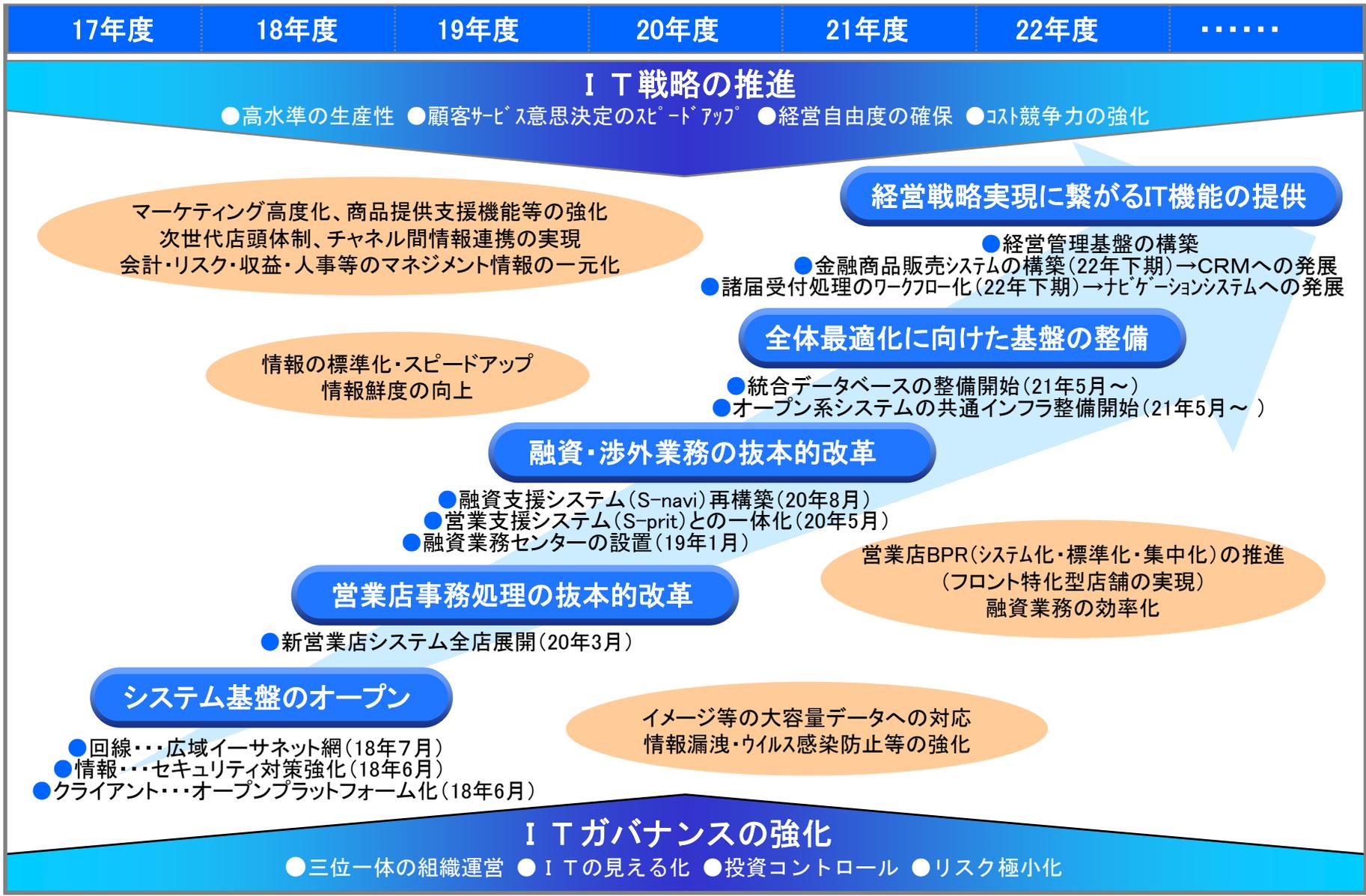
## 〔ご参考〕 人員の推移

(人)

	21年 3月末	22年 3月末	23年3月末 (予想)	(21年 3月末比)
営業店フロント	2,685	2,742	2,925	+240
うち行員	1,982	1,991	2,165	+183
営業店バック・アシスト	1,506	1,520	752	△754
うち行員	325	318	115	△210
本部・融資業務センター・その他	1,096	1,013	963	△133
うち行員	534	565	470	△64
銀行全体 (A)	5,287	5,275	4,640	△647
うち行員	2,841	2,874	2,750	△91
グループ会社等 計 (B)	1,927	1,874	2,540	+613
グループ総人員 (A+B)	7,214	7,149	7,180	△34

※臨時雇、派遣社員等を含む

●16年度からシステム基盤のオープン化などITインフラ整備に計画的に取り組む ⇒ 生産性の向上へ

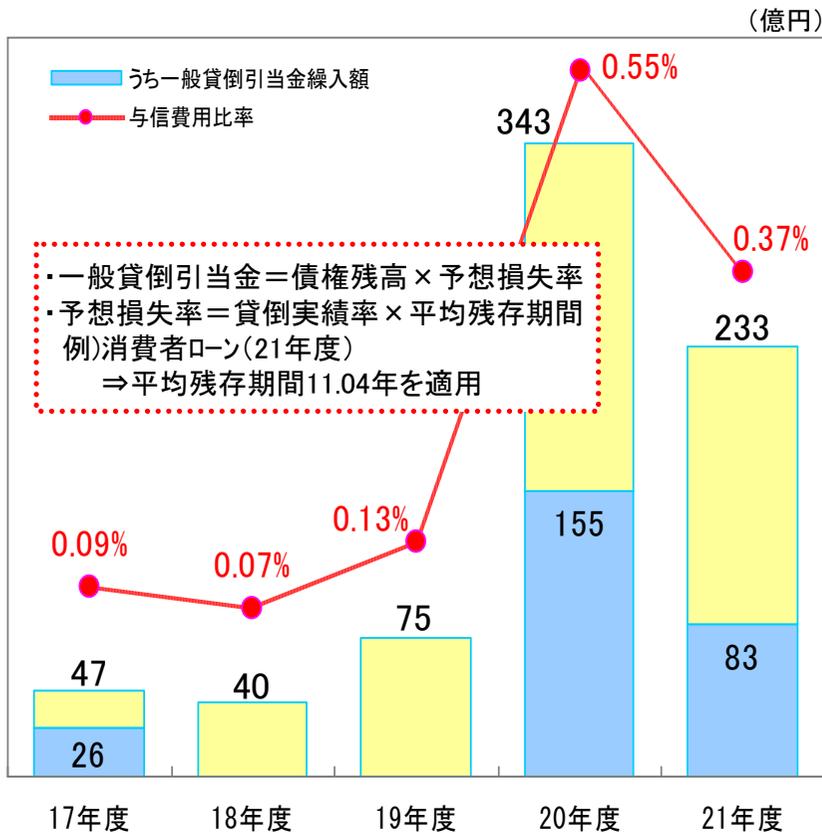




# 与信費用

- 与信費用 233億円（前年度比△110億円）、与信費用比率 0.37%（前年度比△0.18%）
  - 一般貸倒引当金繰入額 83億円（前年度比 △72億円）
  - 不良債権処理額 149億円（ // △38億円）
  - うち個別貸倒引当金繰入額 116億円（ // △40億円）
- 大口与信先の管理強化（業種別・格付別限度管理、経営者資質判定）

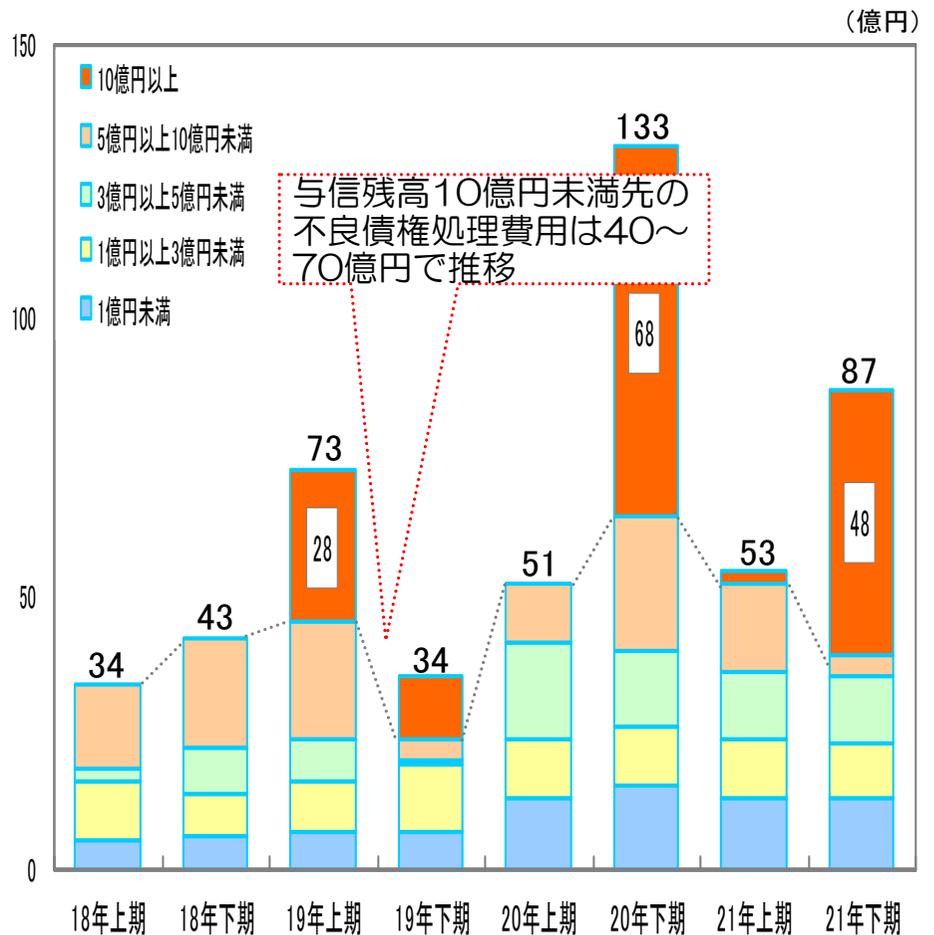
### 与信費用・与信費用比率の推移



・一般貸倒引当金＝債権残高×予想損失率  
 ・予想損失率＝貸倒実績率×平均残存期間  
 例)消費者ローン(21年度)  
 ⇒平均残存期間11.04年を適用

※与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額  
 与信費用比率＝与信費用÷貸出金平残  
 19年度以降の不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額等を含む

### 与信残高金額階層別の個別貸倒引当金繰入額推移



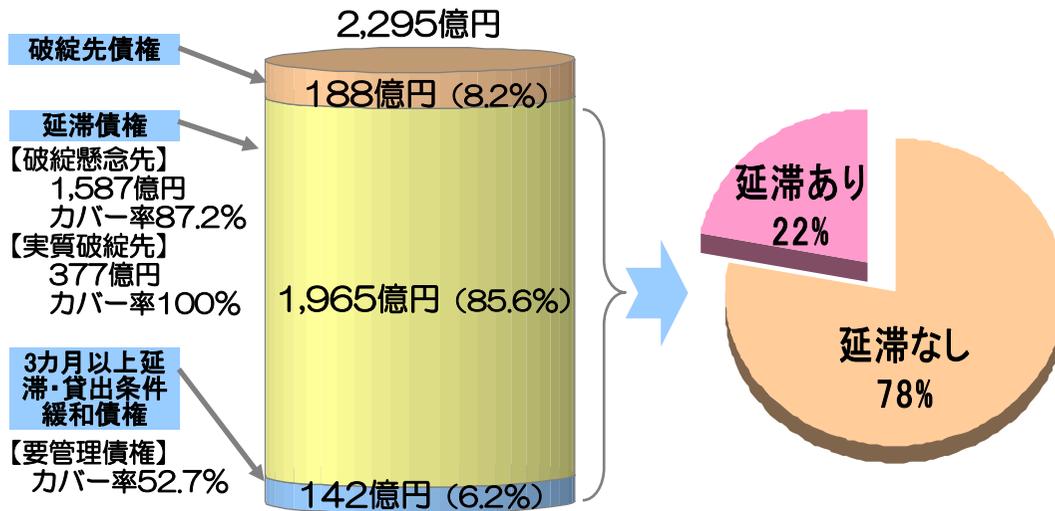
与信残高10億円未満先の不良債権処理費用は40～70億円で推移



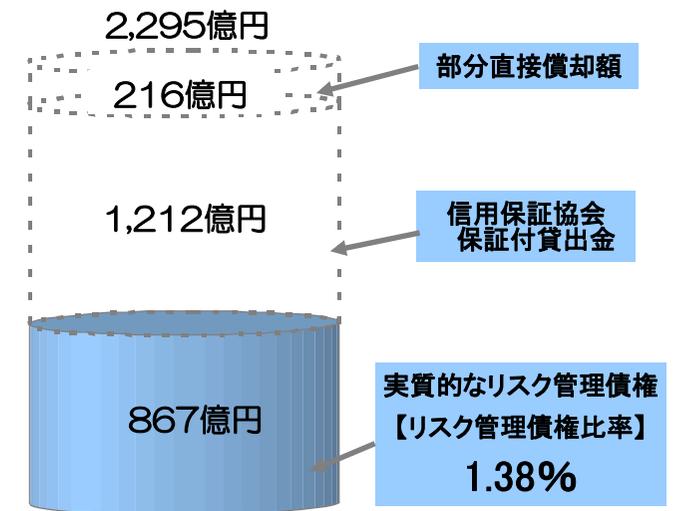
# リスク管理債権

- リスク管理債権の総額（単体ベース） 2,295億円（前年度末比 +213億円）
- リスク管理債権の割合 3.64%（// +0.37ポイント）、カバー率88.2%
- 実質的なリスク管理債権（単体ベース） 867億円（// △15億円）
- 実質的なリスク管理債権の割合 1.38%（前年度比同水準）

## 22年3月末リスク管理債権の内訳



## 実質的なリスク管理債権



## 不良債権のオフバランス化

(億円)	18年度	19年度	20年度	21年度
新規発生 (うち格下)	+489 (+369)	+693 (+506)	+892 (+580)	+977 (+801)
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△715 (△604)	△706 (△600)	△765 (△532)	△764 (△695)
リスク管理債権	1,968	1,955	2,082	2,295

+213

### 〔695億円の内訳〕

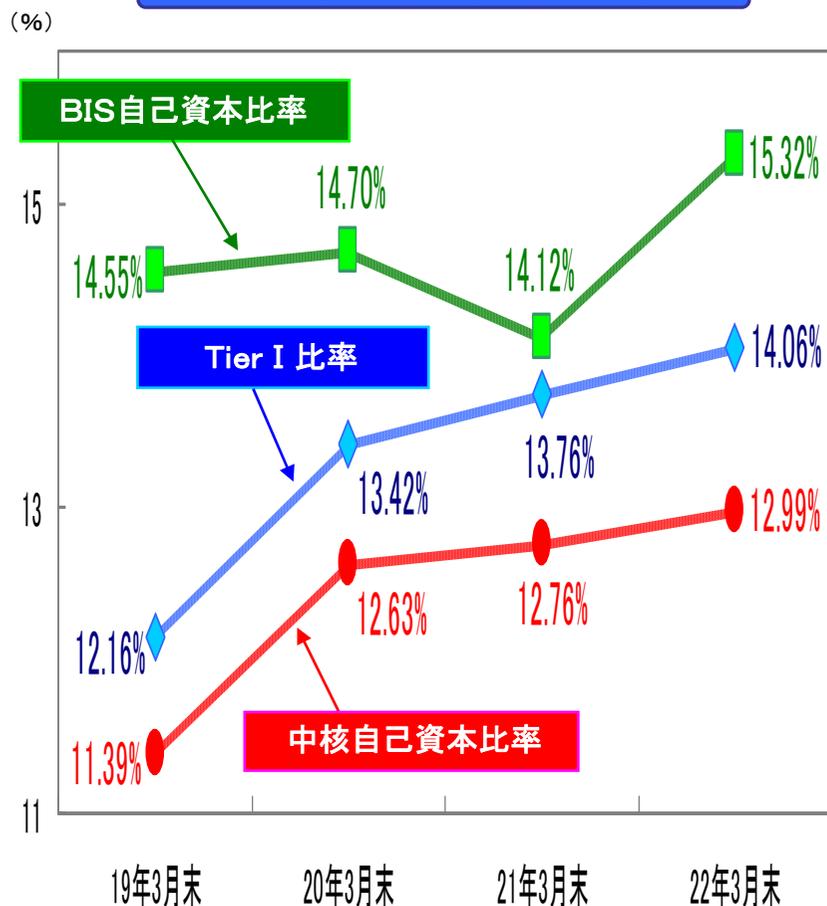
	(億円)
本人弁済・預金相殺	126
担保処分・代位弁済	267
格上げ	167
債権売却	121
貸出金償却 (貸引相殺前)	14



# 自己資本比率

- 22年3月末のバーゼルⅡによる自己資本比率 15.32%（前年度末比+1.20ポイント）
- Tier I 比率 14.06%、中核自己資本比率 12.99%

BIS自己資本比率（連結ベース）



自己資本およびリスク・アセット等の推移

	19年 3月末	20年 3月末	21年 3月末	22年 3月末	21年 3月末比
自 己 資 本	6,919	6,504	6,234	6,878	+644
うち Tier I	5,785	5,938	6,078	6,314	+236
うち中核自己資本	5,421	5,589	5,633	5,833	+200
うち Tier II	1,365	791	291	676	+385
リスク・アセット等	47,549	44,232	44,148	44,889	+741
信用リスク・アセットの額	44,620	40,895	40,946	41,663	+717
マーケット・リスク相当額に係る額	220	220	248	205	△43
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2,709	2,837	2,954	3,021	+67
フロア調整額	-	280	-	-	-

アウトライヤー比率（単体ベース）

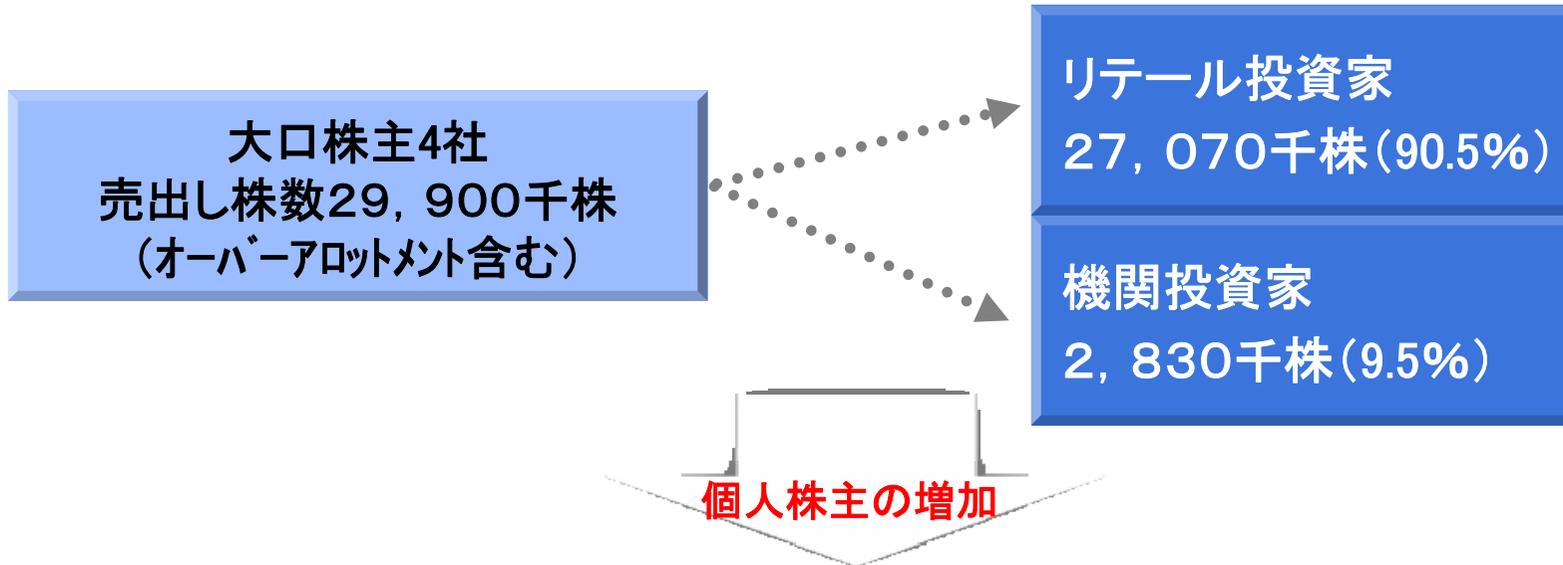
銀行勘定の金利リスク量	Tier I + Tier II	アウトライヤー比率
792億円	6,723億円	11.78%

【参考】中核自己資本比率=Tier I -繰延税金資産相当額※  
※その他有価証券評価差額金等対応分を除く



# 資本政策①

- 22年1月に「株式売出し」を実施 ⇒ 株主数の増加、株式の流動性向上



	21年3月	22年3月	増減
株主数全体	23,584先	28,806先	+5,222先
うち個人株主数	22,082先	26,998先	+4,916先
(個人保有株数割合)	16.7%	19.1%	+2.4%

第10次中期経営計画の目標「地域の個人株主の増加」



## 資本政策②

- 21年度1株当たり配当額（13円）は地銀最高水準（配当性向28.20%、配当利回り1.59%）
- 21年度は5,000千株の自己株式取得を実施
- 22年5月14日、10,000千株の自己株式取得を公表

### 配当額の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度予想
一株当たり配当額(年間)	13.00円	13.00円	13.00円	13.00円	13.00円(6.50円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.03%	1.10%	1.47%	1.59%	—

( ) は中間配当額

### 株主への利益配分の状況

(単位：億円、%)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度 予想	12~21年度実績 (10年間)
年間配当額①	92	91	91	91	89	687(累計)
自己株式取得額②	—	126	—	40	80	798(累計)
株主還元額③=①+②	92	218	91	131	169	1,486(累計)
当期純利益④	363	352	128	321	300	2,478(累計)
配当性向①/④×100	25.39	25.96	70.85	28.20	29.72	27.74(平均)
株主還元率③/④×100	25.39	61.82	70.85	40.64	56.39	59.96(平均)

※22年度自己株式取得額は10,000千株、1株当たり800円にて試算



# 平成22年度業績予想

【連結】	21年度実績	22年度予想	前年度比
連結経常収益	2,145	2,080	△65
連結経常利益	539	537	△2
連結当期純利益	328	307	△21

【静岡銀行単体】	21年度実績	22年度予想	前年度比
経常収益	1,860	1,800	△60
業務粗利益	1,520	1,473	△47
経費 (△)	793	818	+25
一般貸倒引当金繰入額(△)	83	55	△28
業務純益	643	600	△43
基礎的業務純益	675	650	△25
実質業務純益	727	655	△72
不良債権処理額 (△)	149	104	△45
株式等関係損益	29	26	△3
経常利益	505	500	△5
当期純利益	321	300	△21
与信費用 (△)	233	159	△74

【参考資料】

*Dream with you.*

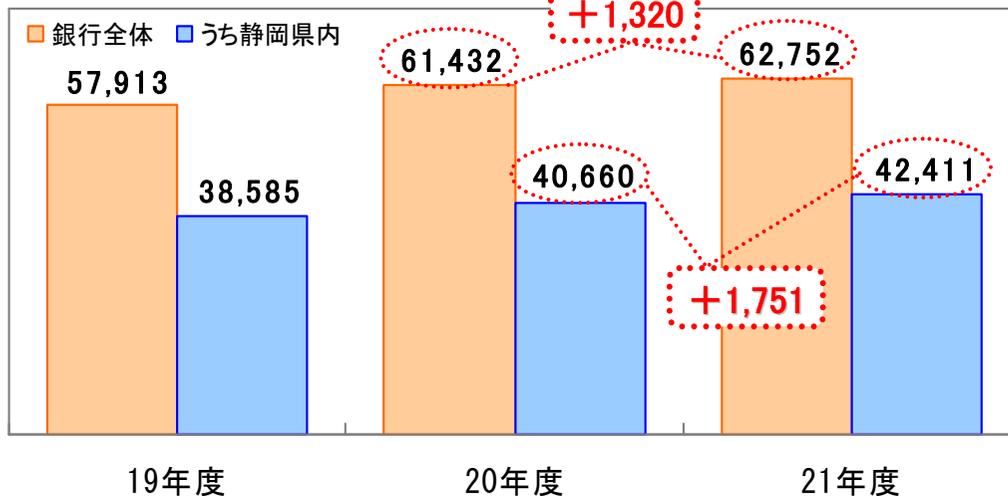


SHIZUOKA BANK

静岡銀行

# 貸出金

●21年度の貸出金残高（平残）62,752億円、前期比+1,320億円（年率+2.1%）



## 【中小企業貸出】

平残25,561億円

前年度比+158億円増加（年率+0.6%）

※保証協会利用状況：平残6,849億円

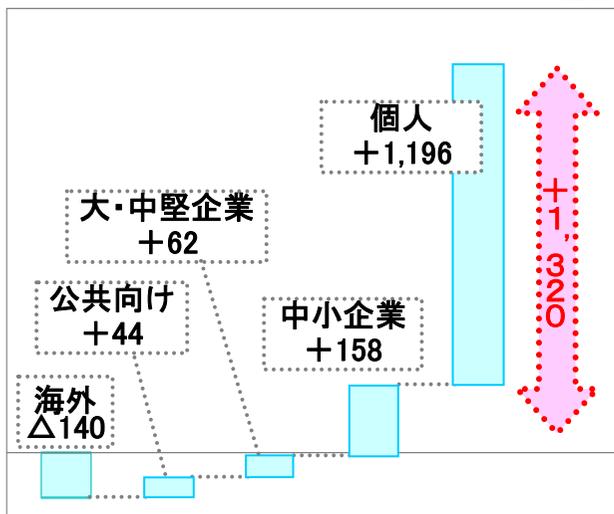
## 【個人貸出】

平残20,685億円

前年度比+1,196億円増加（年率+6.1%）

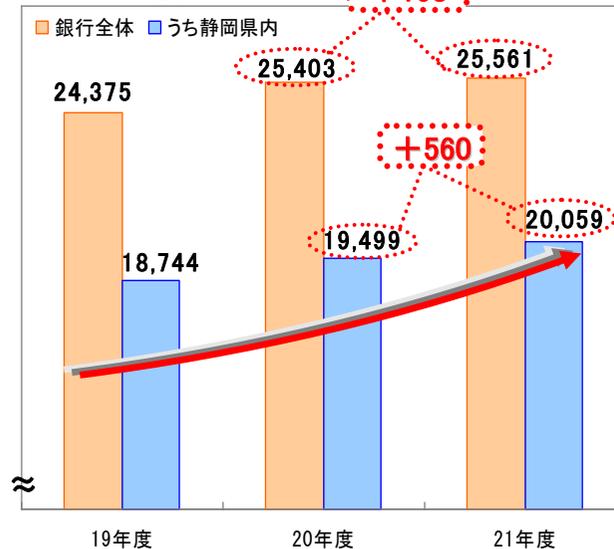
## 企業規模別 貸出金残高（平残）の増減

【21年度貸出金増減額内訳（前期比）】 (億円)



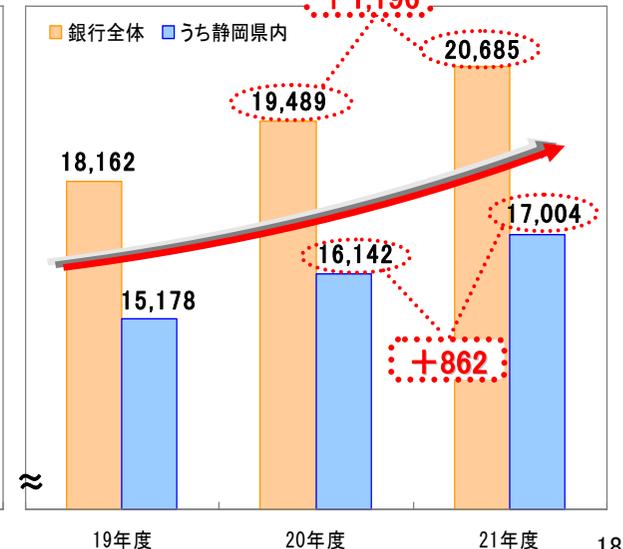
## うち中小企業向け貸出金残高（平残）の推移

※地方公社を含まない (億円)



## うち個人向け貸出金残高（平残）の推移

(億円)





# 業種別貸出金

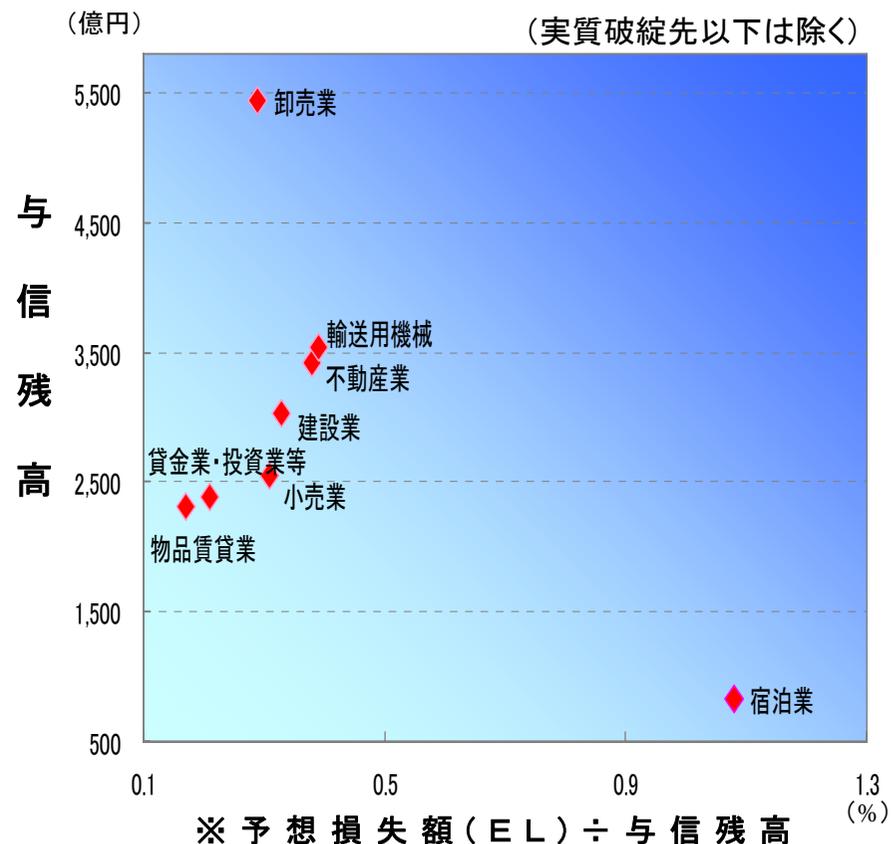
- とくに不動産業、建設業、貸金業・投資業等、物品賃貸業の事業性貸出金に占める割合はいずれも8%以下であり、これら業種への与信集中はない
- 予測損失額(EL)は与信全体で144億円（不動産業13億円、建設業10億円）
- 信用リスク量(UL)は与信全体で630億円

## 事業性貸出金に占める特定業種の状況

### 【与信残高(22年3月末)】

		(億円、%)		
		残高	構成比	前年度比
全	体	44,586	100.0	△2,050
不	動 産 業	3,414	7.7	+75
建	設 業	3,027	6.8	△41
物	品 賃 貸 業	2,312	5.2	△205
貸	金 業 ・ 投 資 業 等	2,382	5.3	△236
卸	売 業	5,434	12.2	△704
輸	送 用 機 械	3,546	8.0	△380
小	売 業	2,544	5.7	△225
宿	泊 業	833	1.9	+53

### 【与信残高対予想損失率(※)】

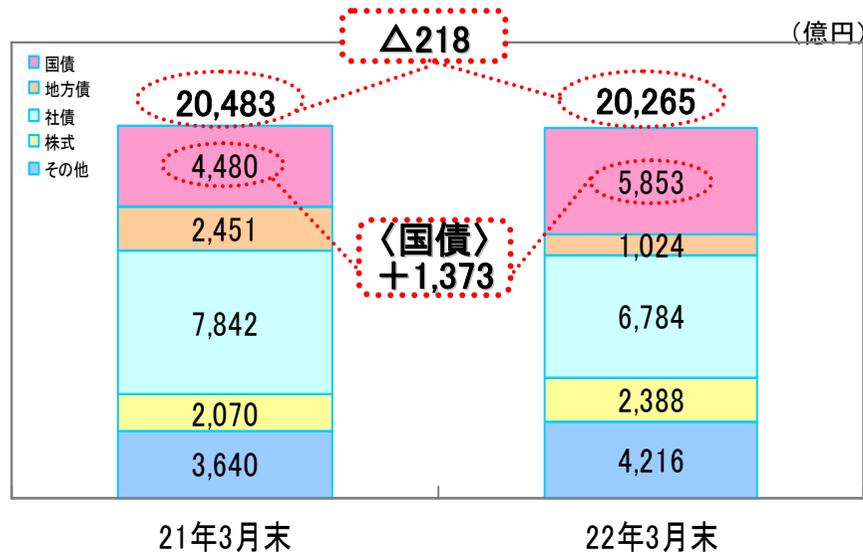




# 有価証券

- 22年3月末の有価証券残高20,265億円（21年3月末比 Δ218億円）
- 22年3月末の株式・債券・投資信託等の有価証券評価損益+1,332億円（同 +690億円）

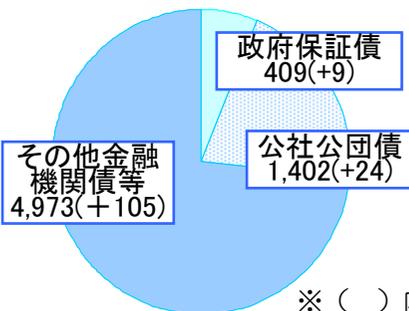
有価証券残高の推移



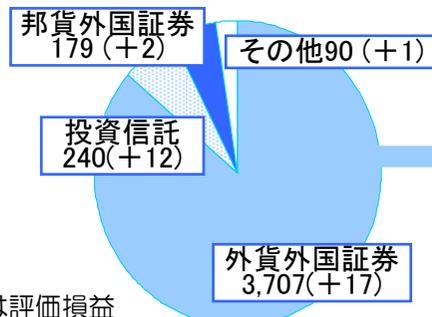
債券平均残存期間・有価証券評価損益の推移

	21年3月末	22年3月末
円債デュレーション	3.90年	4.73年
外債デュレーション	1.09年	2.60年
有価証券評価損益	642億円	1,332億円
うち株式	686億円	1,145億円
日経平均株価	8,109.53円	11,089.94円

社債6,784億円の内訳  
(前期比Δ1,058億円)



その他4,216億円の内訳  
(前期比+576億円)



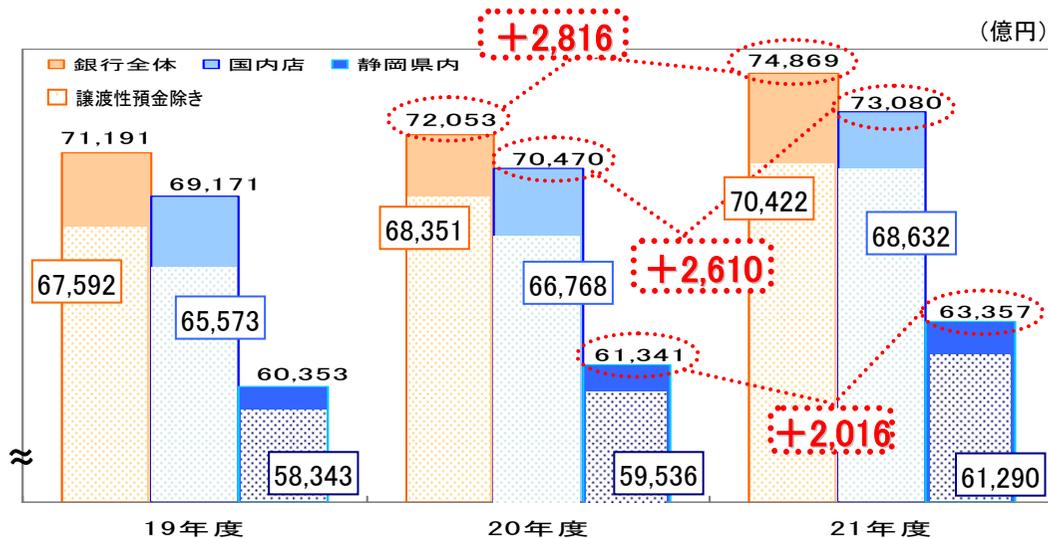
※ ( ) 内は評価損益

モーゲージ債の内訳 (億円)

	(簿価)	(億円)	
		21/3比	(評価損益)
ジニーメイ	3,106	+1,219	+14
ファニーメイ	20	Δ11	Δ0
フレディマック	182	Δ84	Δ2

# 預金

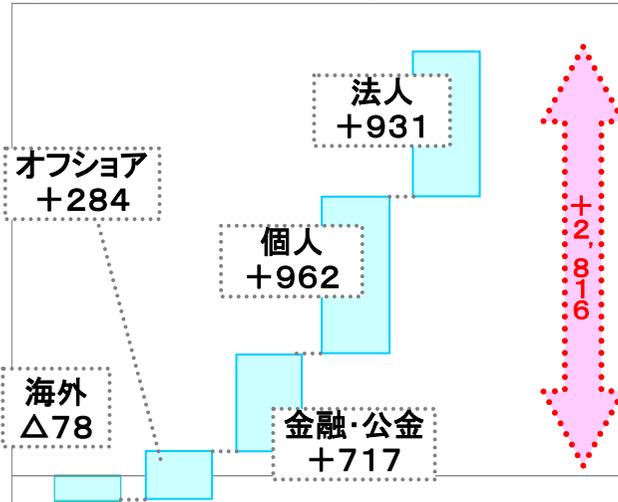
●21年度の預金等残高（平残）74,869億円、前期比+2,816億円（年率+3.9%）



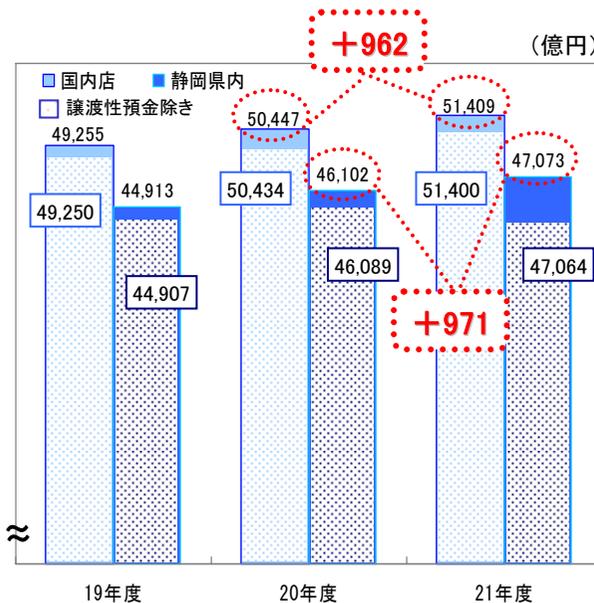
- 国内営業店 73,080億円  
（前年度比+2,610億円・年率+3.7%）
- うち県内 63,357億円  
（同 +2,016億円・年率+3.2%）
- うち個人 51,409億円  
（同 +962億円・年率+1.9%）
- うち法人 18,216億円  
（同 +931億円・年率+5.3%）

## 預金等残高（平残）増減額の内訳

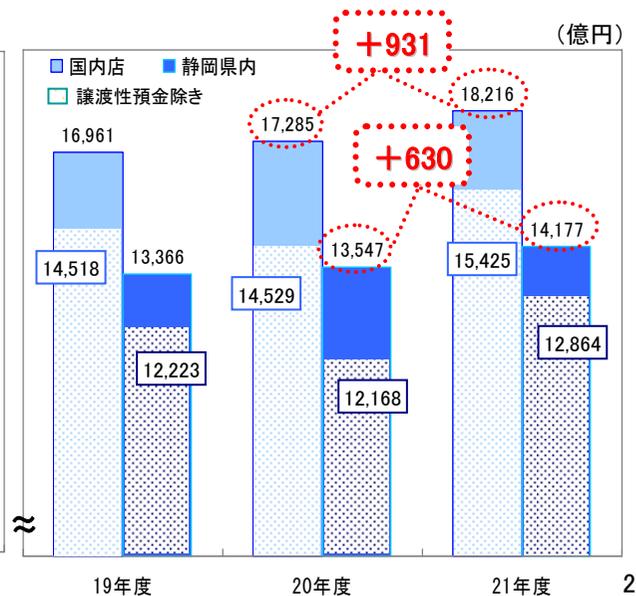
【増減額内訳（前年同期比）】 (億円)



## うち個人預金等残高（平残）の推移



## うち法人預金等残高（平残）の推移





# 預貸金利回り

- 22年3月の預貸金利回り差は、21年3月比  $\Delta 0.04$ ポイント

円貨貸出金・預金構成の変化（単月比較）

	[21年3月]		$\Delta 0.10$	[22年3月]	
	平残(構成比)	利回り		平残(構成比)	利回り
貸出金	6.2 (100.0)	1.84		6.1 (100.0)	1.74
変動金利	4.4 (71.4)	1.80		4.5 (73.7)	1.67
短プラ・新長プラ基準	2.7 (43.6)	2.19		2.9 (46.8)	2.08
市場連動	1.6 (26.2)	1.09		1.6 (25.4)	0.86
固定金利	1.8 (28.6)	1.95		1.6 (26.3)	1.91

[預貸利回り差]  $+1.66$

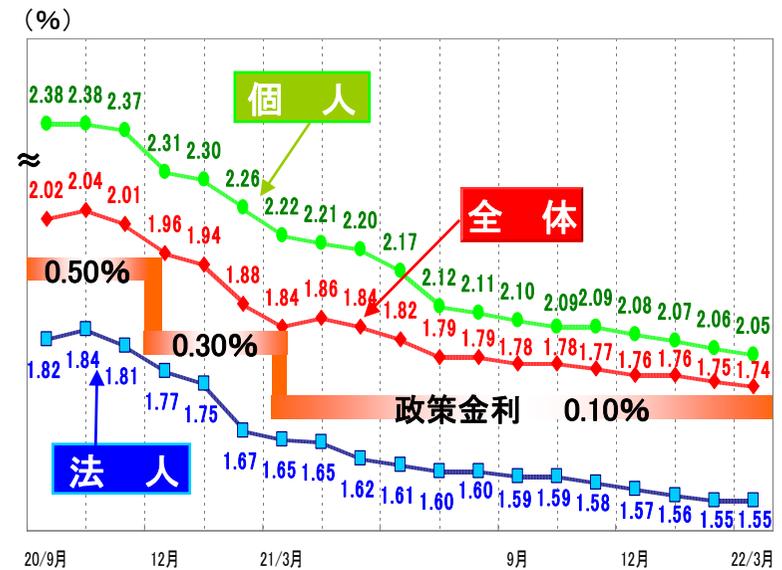
$\Delta 0.04$

$+1.62$

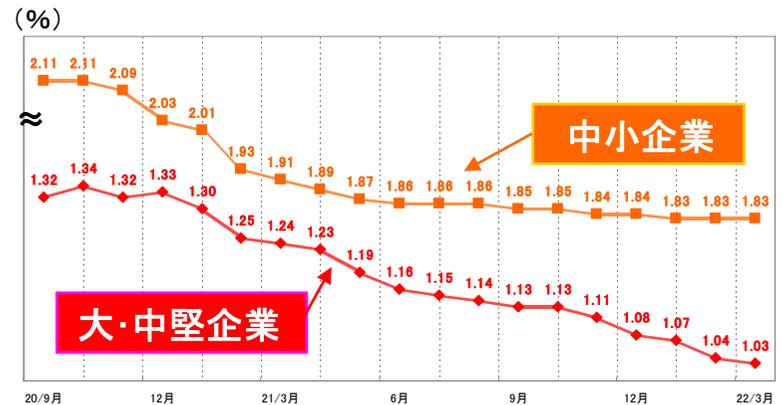
	[21年3月]		$\Delta 0.06$	[22年3月]	
	平残(構成比)	利回り		平残(構成比)	利回り
預金	7.1 (100.0)	0.18		7.2 (100.0)	0.12
流動預金	3.9 (55.4)	0.02		3.9 (53.9)	0.02
定期性預金	2.8 (41.1)	0.37		3.0 (41.3)	0.24

※預金はNCDを含む

貸出金利（月中平均）の推移



うち企業規模別法人貸出金利の推移

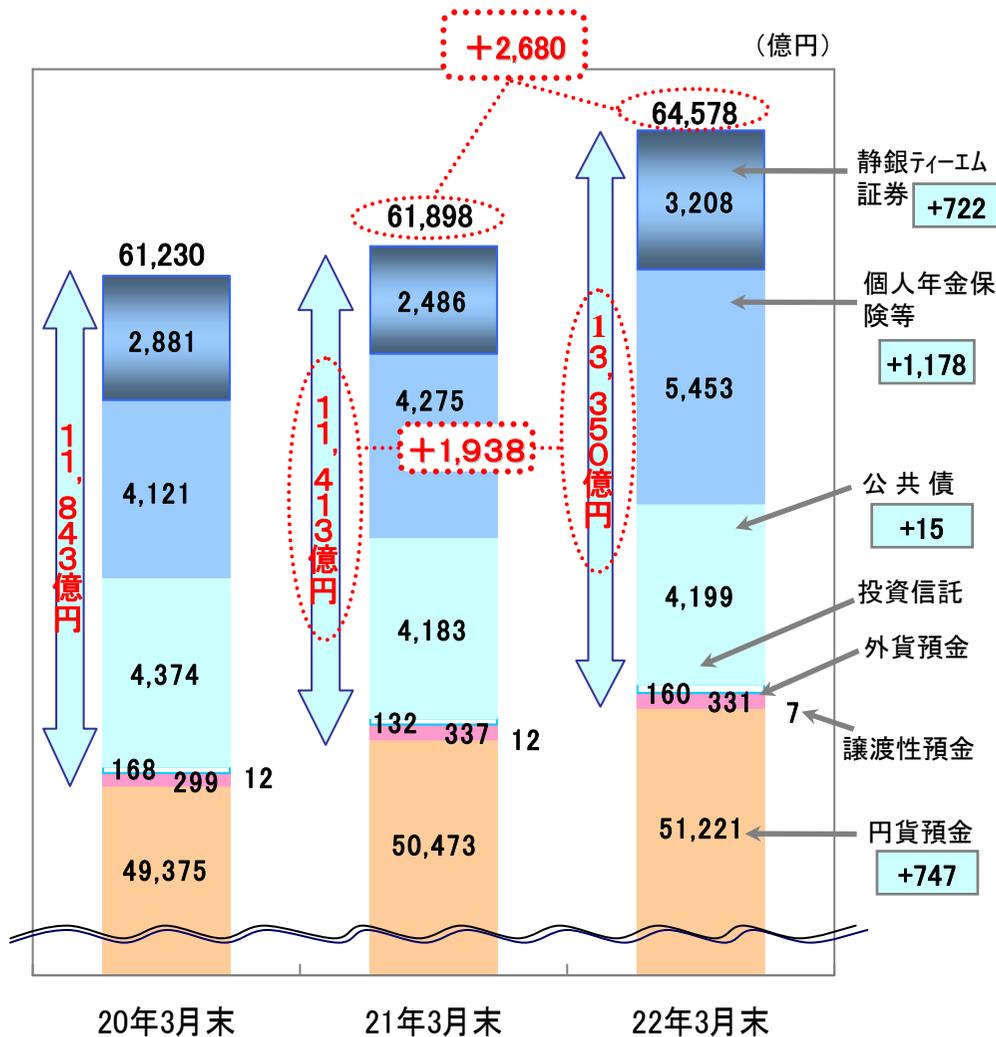




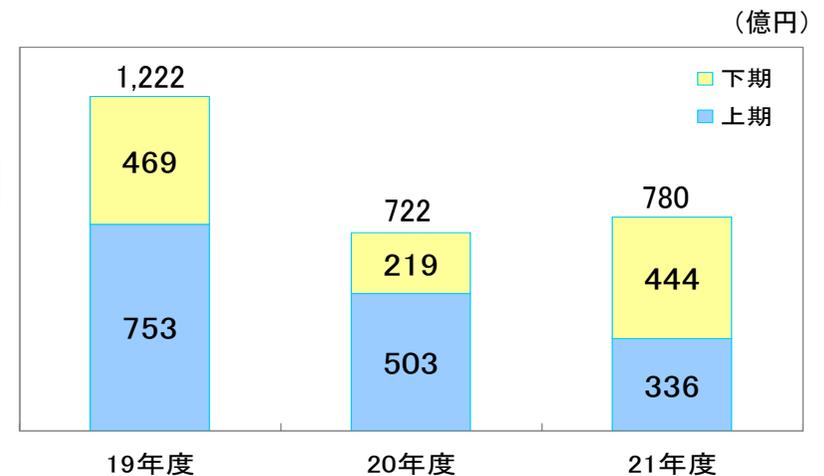
# 預り資産

- 22年3月末の個人預り資産残高（静銀ティーム証券を含む）は、64,578億円（21年3月末比+2,680億円）
- 資産運用商品（円貨預金、譲渡性預金を除く）は、13,350億円（同+1,938億円）

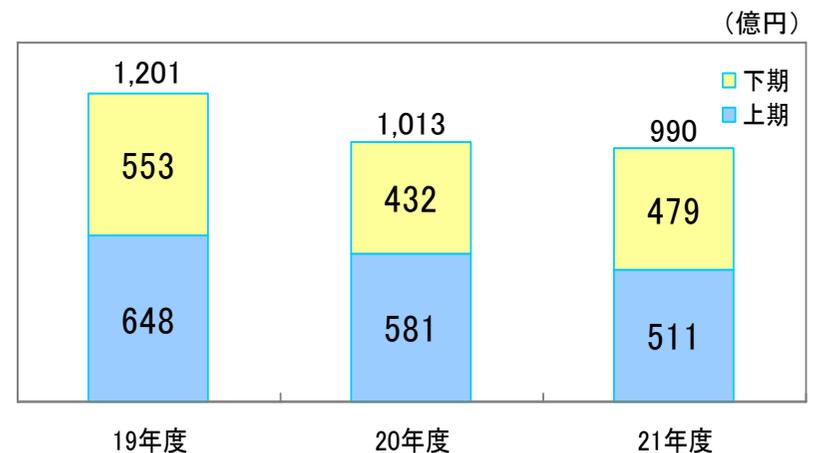
### 個人預り資産（末残）の推移



### 投資信託販売額の推移

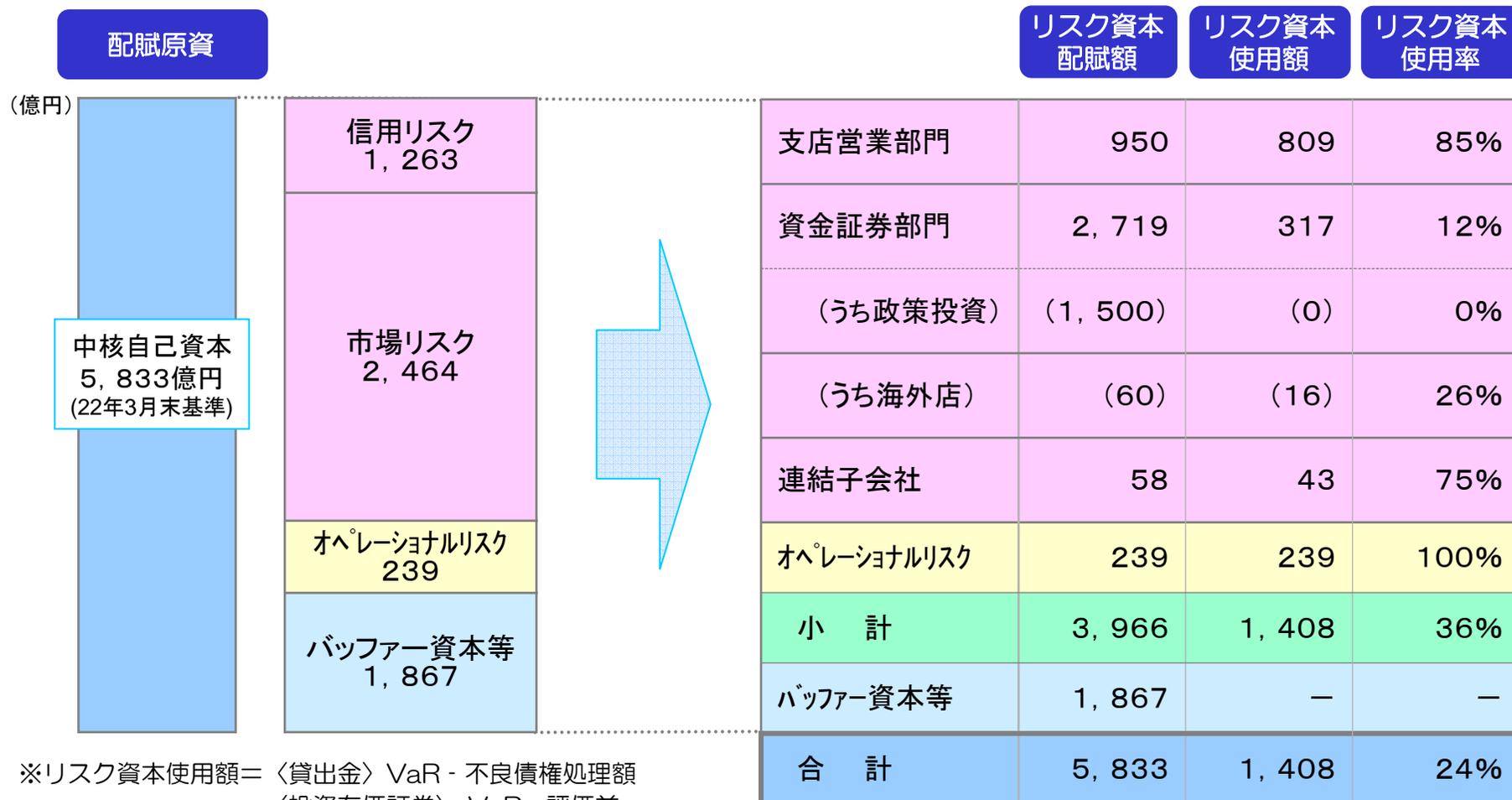


### 個人年金保険等販売額の推移



# リスク資本配賦

- 21年度下期のリスク資本配賦額は5,833億円。うち信用リスク1,263億円、市場リスク2,464億円、オペレーショナルリスク239億円、バッファー資本等1,867億円



※リスク資本使用額＝〈貸出金〉VaR - 不良債権処理額  
 〈投資有価証券〉VaR - 評価益  
 〈その他〉VaR

※バッファー資本は、東海地震等非常時や計量化できない  
 リスク等への備え

# グループ会社の状況

- グループ会社（連結子会社11社）は、  
 経常収益450億円（前年度比+8億円）、経常利益37億円（前年度比+4億円）の増収増益

（億円）

会社名	業務内容	経常収益		経常利益	
			前期比		前期比
静銀経営コンサルティング(株)	経営コンサルティング業務	3	+0	1	+0
静銀リース(株)	リース業務	228	+20	7	△3
静岡コンピューターサービス(株)	コンピューター関連業務、計算受託業務	51	△5	3	+1
静銀信用保証(株)	信用保証業務	13	+1	8	△0
静銀ディーシーカード(株)	クレジットカード業務、信用保証業務	22	△1	5	△1
静岡キャピタル(株)	株式公開支援業務、中小企業再生支援業務	5	△2	1	△0
静銀ティーム証券(株)	金融商品取引業務	33	+8	10	+7
欧州静岡銀行	銀行業務・金融商品取引業務	6	△12	1	+0
静銀総合サービス(株)	労働者派遣業務等	34	△1	0	+0
静岡モーゲージサービス(株)	銀行担保不動産の評価・調査業務等	8	+0	0	+0
静銀ビジネスクワイエット(株)	為替送信・代金取立等の集中処理業務等	47	+0	0	△1
<b>合 計（11社）</b>		<b>450</b>	<b>+8</b>	<b>37</b>	<b>+4</b>
静銀セゾンカード(株) ※	クレジットカード業務、信用保証業務	7	+4	△5	+4

※持分法適用関連会社、平成19年4月開業



# 静岡県経済

〈経済規模〉静岡県経済は「3%、10位の経済圏」と称せられ、多くの経済指標が全国シェアで3%、都道府県別で10位前後に集中しており、全国的にも高水準の経済力である

(億円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
県内総生産	168,664	169,275	164,058(※)	—
国内総生産	5,109,247	5,202,915	—	—
県内総生産の順位	10位	10位	—	—
県内製造品出荷額	182,347	194,102	191,777	—
国内製造品出荷額	3,148,346	3,367,566	3,355,788	—
県内製造品出荷額の順位	3位	3位	3位	—

工場立地件数(静岡県)	102	124	144	44
〃 (全国)	1,782	1,791	1,630	873
〃 (順位)	3位	1位	1位	5位

注)製造品出荷額・工場立地件数は暦年ベース、それ以外は年度ベース

(※)速報値

〈有効求人倍率(季節調整済)〉21年2月以降、引き続き全国平均を下回っている状況

	21年6月	21年7月	21年8月	21年9月	21年10月	21年11月	21年12月	22年1月	22年2月	22年3月
静岡県	0.40倍	0.39倍	0.38倍	0.38倍	0.38倍	0.38倍	0.38倍	0.40倍	0.44倍	0.45倍
全国	0.45倍	0.43倍	0.42倍	0.43倍	0.43倍	0.43倍	0.43倍	0.46倍	0.47倍	0.49倍

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。